

令和8年度 清新第一中学校の評価・評定について

1. 評価・評定を生徒、保護者、進路希望先にお伝えする場面

評価は、学習活動のさまざまな場面で行い、生徒の学習改善や教員の授業改善に活用していきます。年間を通した評価及び評定は3学期の通知表に示しますが、その途中経過は次のように示します。

		1・2年生			3年生			
		1学期 通知表	2学期 通知表	3学期 通知表	1学期 通知表	2学期 通知表	2学期 調査書	3学期 通知表
各教科 ・ 道 徳	1学期評価	○			○			
	1学期評定	○			○			
	2学期評価		○					
	2学期評定		○					
	1・2学期総合評価					○	○	
	1・2学期総合評定					○	○	
	学年総合評価			○				○
	学年総合評定			○				○
総合的な学習の 時間	1・2学期総合評価						○	
	学年総合評価			○				○
読書科	1・2学期総合評価						○	
	学年総合評価			○				○

※ 評価はABCまたは文章で表記し、評定は54321で表記する。

※ 道徳・総合的な学習の時間・読書科は、取り組み状況を評価して文章で示すが、評定はしない。

※ 進路希望先には3年2学期調査書を、進路先には3年3学期通知表と同じものを示すことになっています。

2. 各教科の評価規準

観点別学習状況評価で評価する4つの観点のうち、評定に用いる「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点はそれぞれA・B・Cの3段階で評価します。

指導計画、期待される評価の80%以上をA 50%以上をB 50%未満をCと評価します。

「学びに向かう力・人間性等」における「感性・思いやり」については個人内評価として、A・B・Cという評価はしません。

3. 各教科の評定基準

観点別学習状況評価で評価する4つの観点のうち、評定に用いる「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点のA・B・Cで表す評価を総括して5・4・3・2・1の5段階で評定します。

指導計画、期待される評価に対して、90%以上を5 80%以上を4 50%以上を3 20%以上を2 20%未満を1 と評定します。

なお、評定は各観点の評価を下記の割合で総合した到達度であり、定期考査の結果のみでの算出ではないことにご留意ください。

【3観点ABC評価を総括して評定を算出する際の割合】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
国・数・英	35%	35%	30%
社・理・音・美・保体・技家	40%	30%	30%